



▶ 党員募集のご案内

みなさんも自民党に入党して、党員としていっしょに自民党を支えてみませんか？ 入党資格は、わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方、満18歳以上で日本国籍を有する方、他の政党の党籍を持たない方です。

党費は年額4,000円（家族党員は2,000円）です。詳しくは自民党兵庫六区支部（072-773-7601）まで、ご連絡下さい。

大串まさき プロフィール

- ▶ 昭和41年、兵庫県生まれ。
- ▶ 報徳学園高校卒（74回）、東北大学卒、同大学院修了（工学修士）。IHI（株）、松下政経塾を経て北陸先端科学技術大学院大学修了（博士）。西武文理大学准教授等を歴任。
- ▶ 平成23年3月、公募により自由民主党兵庫県第六選挙区（伊丹市・宝塚市・川西市）支部長に就任。
- ▶ 平成24年12月、第46回衆議院総選挙にて初当選。以降、第47回（平成26年）、第48回（平成29年）総選挙にて連続当選。現在3期目。
- ▶ 国会対策副委員長などを経て、平成29年4月、第3次安倍第2次改造内閣にて経済産業大臣政務官就任。産業・通商政策・資源エネルギー政策・中小企業政策などに注力。
- ▶ 平成30年10月より、自民党副幹事長に就任。ほかに、党選対副委員長、厚生労働委員会理事、文部科学委員、厚生労働副部会長などを担当。

衆議院議員・自由民主党副幹事長 大串まさきの国政報告



free

兵庫六区
(伊丹・宝塚・川西)
で配布中!

特集

通常国会閉幕 本年度予算と政策

VOL. 17

バックナンバー配信中 **ゲシロック**
<http://www.m-ogushi.com/archive.html>

自由民主党兵庫県第六選挙区支部ニューズレター 第17号（令和元年7月15日号）

頒布責任者

自由民主党兵庫県第六選挙区支部長 大串まさき
伊丹市中央 1-2-6 グランドハイツコーワ 2-12

印刷者

株式会社プリントパック
京都府向日市森本町野田 3-1

討議資料

大串まさきの国政報告

自民党副幹事長としての仕事 選挙対策副委員長を兼務

党務の要である幹事長室

議員には、さまざまな仕事があります。目立つのは、大臣や副大臣など「政府」の仕事です。議長や委員長のように立場中立的な仕事もあります。一方、与党は政策をつくる仕事が大切です。党の政務調査会（政調）で、政策の議論や調整を行うことも重要な仕事です。

逆に、裏方の仕事として目立たなくても大切な役目もあります。国会運営では国会対策委員会「国対」が活躍しています。そして、党の人事や選挙対策など「党務」を司るのが幹事長室です。私も副幹事長として、幹事長の下で、さまざまな仕事を担当しています。党内の連絡調整、広報、各種イベントなど、多岐にわたります。



「かりゆしの日」幹事長の定例記者会見に陪席。

いずれにしても、党の仕事の要として、また党の司令塔としての重要な役割を仰せつかっています。とはいえ、完全に裏方の仕事なので、定例記者会見などでテレビに写ることはあっても、それほど目立つ事はありません。しかし、企業でも同様ですが、目立たないことこそ大切な仕事であったりしますので、その務めをしっかりと果たしたいと思っています。

三期目で唯一の選挙対策副委員長

副幹事長と兼任で、選挙対策副委員長の仕事も任されています。文字通り、全国各地で実施されている選挙戦への対応が仕事です。各級選挙の公認候補・推薦候補の決定や、選挙に関わる都道府県連との連絡調整、選挙戦の後方支援など、実働部隊として働いています。こちら、副幹事長と同様、党務という裏方の仕事ですが、政権運営を陰で支える大切な仕事になります。そんな仕事なので、自ずとベテランの議員が多いのですが、私は三期目で唯一の副委員長として頑張っています。

これまで政調（部会長代理や副部会長）や、国対副委員長、経済産業大臣政務官など、できるだけ多様な役職を経験できるようにと努めて参りました。これからも、与党として経験の幅を、さらに広げて頑張って参ります。



習志野駐屯地第一空挺団、跳出塔体験。
色んな事に挑戦しています。

通常国会閉幕 本年度予算と政策

●本年度予算について

本年度予算のポイントは、以下の3つになります。

①**全世代型の社会保障制度への転換**：消費税増収分を活用した幼児教育・保育の無償化、社会保障の充実（介護人材の処遇改善、年金生活者支援給付金の支給、低所得高齢者の介護保険料の負担軽減強化など）を進めます。

②**消費税引上げによる経済への影響の平準化**：「臨時・特別の措置」として、以下に国費2兆280億円を投じます。

- ・中小小売業等に関する消費者へのポイント還元
- ・低所得・子育て世帯向けプレミアム付商品券
- ・住宅の購入者等への支援
 - －すまい給付金・次世代住宅ポイント制度
- ・防災・減災、国土強靱化対策 など

③**防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策**：緊急対策160項目について、2020年度までの3年間で集中的に実施します。2018年度第2次補正予算と合わせて国費2.4兆円、2020年度までの3年間の事業規模は概ね7兆円程度となります。

●財政の健全化について

「新経済・財政再生計画」の下、歳出改革の取組を継続しています。また、安倍内閣発足以来、国債発行額を7年連続で縮減しました。さらに、一般会計のプライマリーバランスも改善しています（2018年度：▲10.4兆円⇒2019年度：▲9.2兆円）。

骨太の方針 2019

6月21日に「経済財政運営と改革の基本方針 2019～「令和」新時代：「Society 5.0」への挑戦～」が閣議決定されました。いわゆる「骨太の方針」です。人口減少・少子高齢化の進行、生産性と成長力の伸び悩みなど、直面する課題へ対応するために、以下の経済財政運営の基本認識の下に、事業展開・改革を進めて参ります。

経済財政運営の基本認識

持続的かつ包摂的な経済成長の実現と財政健全化の達成の両立

- (1) 潜在成長率の引上げによる成長力の強化
- (2) 成長と分配の好循環の拡大
- (3) 誰もが活躍でき、安心して暮らせる社会づくり

グローバルな環境変化を強く意識

新たな時代への挑戦：「Society 5.0」実現の加速

第4次産業革命による高度な経済、便利で豊かな生活が送れる社会の実現
人生100年時代の到来を見据え、誰もがいくつになっても活躍できる社会の構築

Society 5.0 時代に ふさわしい仕組みづくり

- ◆成長戦略実行計画をはじめとする成長力の強化
＜全世代型社会保障への改革＞
- ◆人づくり革命、働き方改革、所得向上策の推進
- ◆地方創生の推進
- ◆グローバル経済社会との連携

経済再生と 財政健全化の好循環

- ◆新経済・財政再生計画の着実な推進
- ◆次世代型行政サービスを通じた効率と質の高い行財政改革
- ◆主要分野ごとの改革の取組
- ◆歳出改革等に向けた取組の加速・拡大

児童福祉法改正

私が理事を務める衆議院厚生労働委員会において、与野党共同提案による修正を経て、①**親権者・福祉施設の長等による児童のしつけに際しての体罰の禁止**、②**児童相談所の体制強化**、③**関係機関間の連携強化等**を内容とする「児童虐待防止対策の強化を図るための児童福祉法等の一部を改正する法律案」が成立しました。

児童相談所に対する児童虐待対応件数は、5年前と比べて倍増の12万件を超えており、児童虐待は重大な社会問題となっています。度重なる死亡事案をうけ、このような痛ましい事件を2度と繰り返さないとの強い決意をもって、子どもの権利を擁護する事を最優先に、政府・与党として児童福祉法案改正案を本国会に提出しました。

児童虐待という重大な社会課題について与野党がより良い法案の成立に向けて、全党共同提案による修正に合意できたことは大変に意義深いことと考えます。私も厚生労働委員会の与党理事として調整に努めました。今後も多くの国会審議に努めていきたいと考えます。



与党理事として総理に質疑をおこないました。

年金制度について

老後の資金が不足するとの誤解を招いた、金融審議会市場ワーキング・グループ報告書「高齢化社会における資産形成管理」ですが、これは、より豊かな老後を送るためには、より上手に資産形成を行っていくことが大切であるとの金融市場関係者の率直な意見を述べたものです。

しかし、高齢者の家計において、貯蓄や退職金を活用していることに触れることなく、家計調査による高齢夫婦無職世帯の収入・支出の単純平均値で、老後に月約5万円、30年で2,000万円の赤字であるかのように表現した点については、国民の皆さんに「公的年金が足りず、生活が成り立たない」との誤解や不安を広げる全く不適切で鈍感な表現であったと考えます。

公的年金については、老後の生活を支える柱として、将来にわたり持続可能な制度を確保しており、さらに、医療・介護といった社会保障制度が、全体として国民の高齢期に対する包括的なセーフティーネットとして、しっかりと機能しています。また、本年10月からは、**低年金の方へ年間最大6万円の「年金生活者支援給付金」**を支給し、セーフティーネットをさらに充実させていくこととなっています。

人生100年時代において、誰もが安心して暮らせることのできる社会を実現するため、老後生活を支える柱である年金制度をはじめとして、働き方改革や予防・健康づくりなどを含め、丁寧に議論してまいります。